

「九大地熱・火山研究報告 第11号」の発刊にあたって

九州大学 大学院工学研究院
九重地熱・火山研究観測ステーション長
江原幸雄

「九大地熱・火山研究報告 第11号」をお送り致します。本号は九州大学に設置されている国際協力事業団の国際集団研修コース「地熱エネルギーと環境科学」におけるカントリーレポートおよび九重地域を中心とする地熱・火山地域に関する調査研究報告等を掲載しております。また、本号より、当ステーションを基地とする九州の地熱地域・火山地域での研究観測結果（2002年1月－2002年12月）を紹介することに致しました。今回は、観測結果の概要のみを掲載しておりますが、今後はより詳細な観測結果を提示し、充実させていきたいと考えております。

本報告は本学工学研究院における地熱・火山に関する教育・研究活動を広く紹介するとともに、地熱・火山現象の理解さらには地熱エネルギーの利用促進に貢献することを目指しております。また、同時に皆様方におかれましても本報告が有用な情報となることを心より期待しているところであり、掲載内容に関してご意見等頂けましたら誠に幸いです。なお、今回は表紙を一新し、地熱発電所（表表紙）と九重火山（裏表紙）に変え、研究対象である「地熱」と「火山」をより明確に表現致しました。

最後に、本施設の整備状況をご報告致します。建物の外部フェンスの改修を行い、また表示板等を新たに設けました。また、観測設備としては、九重火山を取り囲むボアホール型高精度傾斜計観測ネット（3点観測）を整備致しました。九重火山の研究において重要な貢献を期待しているところであります。



最近の九重地熱・火山研究観測ステーション